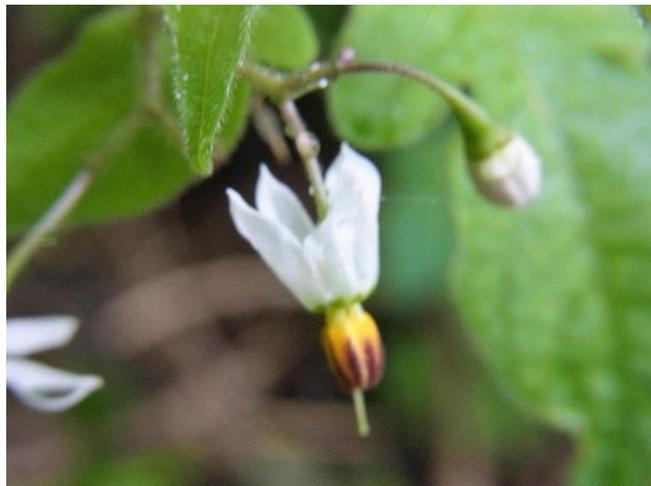


能勢初谷溪谷観察会

令和1年9月13日(金)

あいにくの雨の中、雨具をつけての出発だったが初谷溪谷へ入ってすぐ雨も止み、植生豊かな森を緊急通報ポイント1から11までの観察を楽しむことが出来た。

途中オオムラサキの飼育ケージや民家の庭先の植物を楽しむ機会もあり、濱崎さんの丁寧な解説もあり意義深い観察会となった。



ヒヨドリジョウゴ



オトコオミナエシ



トウコマツナギ 樹高が高い



クサギ



トキリマメ
葉の幅の広い部分が真ん中より葉身基部寄り。



タラノキ 2回羽状複葉



ツリバナ
葉先は尖り、葉柄は5mm以上と長い。
果実は5つに裂ける。



チョウジタデ

ヒレタゴボウ
陵が葉柄から茎へ、ヒレ状に伸びる



ベニバナボロギク
蕾は下向きに垂れ、開花は上を向く。
葉身は裂ける。



オニドコロのインプリ



ダンドボロギク
蕾が下向きに垂れない。
葉身は裂けない。



オニドコロ雌花の結実（果実）



左ツヅラフジの種子 右アオツヅラフジの種子
貝柱状 アンモナイト状



オオバイノモトソウ
細い葉は孢子葉、裏に孢子囊あり



アオツヅラフジ



ケケンボナシの葉
三脈の基部が葉身より葉柄側へ突き出る



シュウブソウ



ミツマタ



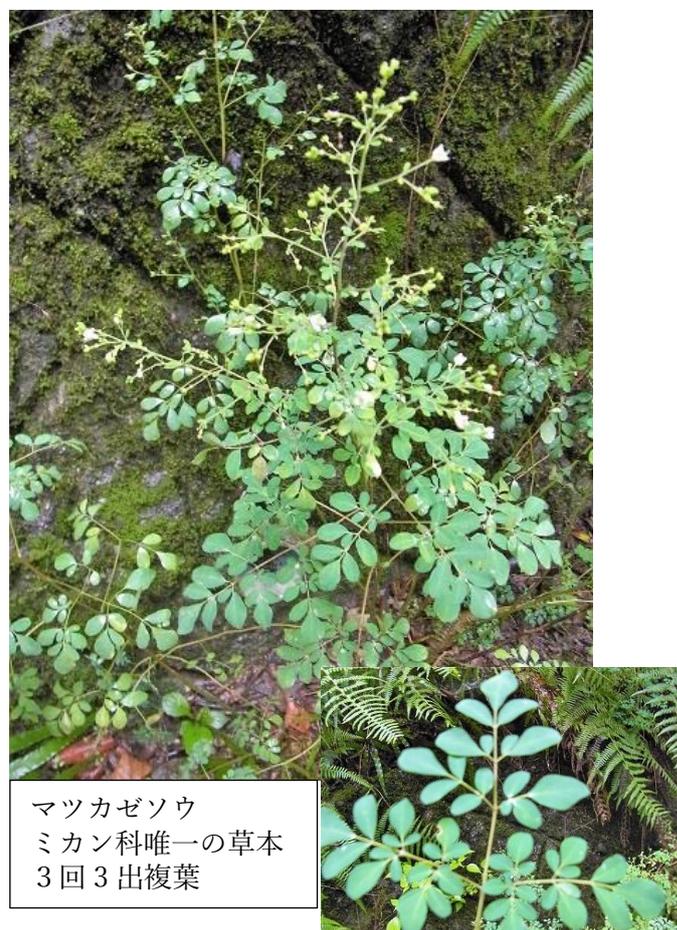
ダンコウバイ



ミツマタのインプリ



ヤマコウバシの果実
漏斗状の萼筒はクスノキ科の特徴。



マツカゼソウ
ミカン科唯一の草本
3回3出複葉



マンモスの卵と牙 (過去と未来)



間歩の試掘跡



フユザンショウのインプリ



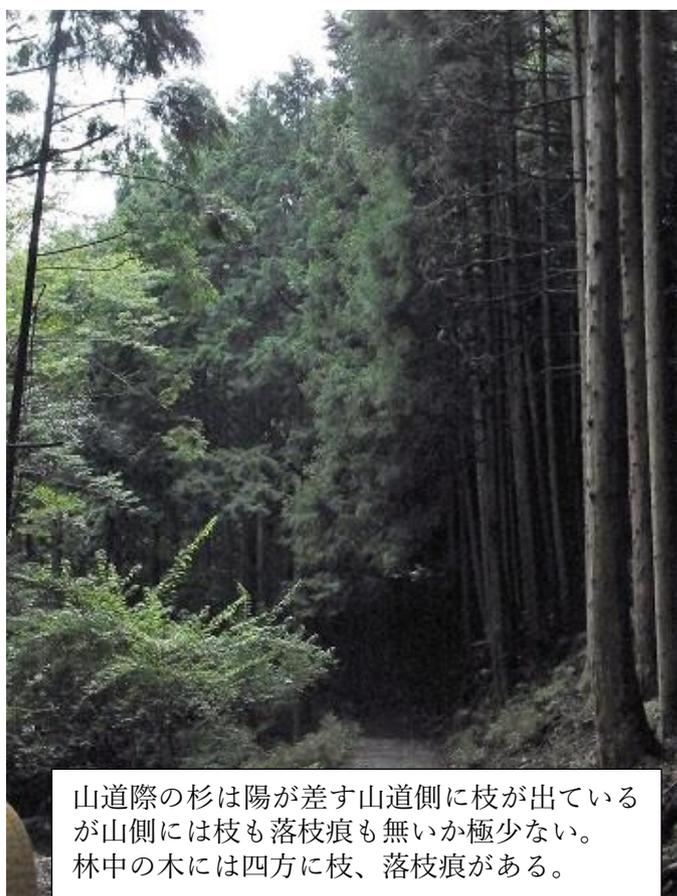
左 フユザンショウ (主軸に翼あり)
中 イヌザンショウ (葉縁が平ら)
右 サンショウ (葉縁が波打つ)



エゴノキの主芽と副芽(予備の芽)



食事場所に出現したタマムシ



山道際の杉は陽が差す山道側に枝が出ているが山側には枝も落枝痕も無いか極少ない。林中の木には四方に枝、落枝痕がある。